

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
-----	---------------	------	-----	-----	-------------

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」のバランスのとれた力を育成するとともに、社会の変化に向き合い、生き抜いていくために求められる力を養う。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

・学び合う子 ・助け合う子 ・鍛え合う子

【子どものスローガン】

「つよく やさしく かしこい子」

2 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員一丸となって協働し、創意と活力にあふれ児童の主体性を生かした教育活動を展開するとともに、「安心・安全に生活することのできる楽しい学校」「自分のよさを発揮し互いに高め合える学校」「きまりを守りお互いを尊重し合う学校」「保護者や地域から信頼され地域とともにある学校」を目指した笑顔あふれる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

学校教育目標の実現のために、「学習指導要領」「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」の趣旨を踏まえ、本校児童の観察、学校評価や各種調査結果に基づき、以下の方針で学校経営の充実に努める。

- 心豊かでたくましく生きる児童を育成する教育活動を積極的に推進するとともに、一人一人が安心して生き生きと活動できる学校づくりに努める。
- 学業指導を基盤に、学習意欲を高めつつ知識・技能を確実に身に付け、思考力・判断力・表現力等を育む教育活動を推進し、主体的・対話的で深い学びを実践できる確かな学力の向上を目指す。
- 全ての教育活動を通して、規律を守り、生命と人権を尊重する心や思いやりの心を育む道德教育を推進する。
- 自ら健康や体力づくりに励むとともに、児童一人一人が健康で安心・安全な学校生活を送るための判断力と実践力を育成する。
- 教職員としての使命と責務を自覚し、専門職として日々研鑽を積み、指導力及び資質の向上を図るとともに、誰からも信頼されるように努める。
- 校務の明確化・重点化・効率化を推進し、やりがいとチームとしての協働意識をもって勤務できる学校づくりに努める。
- 学校、地域、家庭との連携、学校園における小中の連携を推進するとともに、地域の教育資源や教育力を活用し、開かれた学校づくりを推進する。

[古里地域学校園教育ビジョン]

夢や希望をもち、その実現に向けて、よく考え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身に付ける児童生徒の育成

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ① 日本国憲法，教育基本法，学校教育法及び同施行規則等並びに県や市の教育ビジョン等を踏まえた教育課程を編成する。
- ② 「1教育目標」及び「3学校経営の方針」「5今年度の重点目標」に則り，地域や学校，児童の実態及び児童の心身の発達と特性を十分考慮して，知・徳・体の調和のとれた，心豊かでたくましい児童の育成が図れるように「7特色ある学校づくり等に関する取組」を組み込み充実した教育課程を編成する。
- ③ 学校行事や諸活動のより一層の精選を図るとともに，教育活動が創意と工夫に満ちたものになるよう教育課程を編成する。

(2) 教育課程編成上の留意点

① 学び合う子を育てるために

- ア 「宇都宮モデル」を中心とした授業展開に加え，教材や1人1台端末・AI型学習ドリル等を効果的に活用しながら基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるようにする。
- イ 児童が自分の思いや考えを自由に表現できる言語活動の実践化を図り，各教科等における教育活動において，主体的・対話的で深い学びにつながるような学習を推進する。
- ウ 家庭と連携して家庭学習の定着を図り，進んで学習に取り組む意欲を高める。
- エ 児童が安心して学習を進めながら自己の能力を最大限発揮していくことができるよう，特別支援教育の視点も取り入れながら，「よさを伸ばす指導」の充実を図る。
- オ 各教科等や教科横断的な授業の中で，SDGsの問題なども含めて，困難な課題を創意工夫しながら解決する機会を適時設けるなどして，新たな課題に取り組もうとする関心・意欲を高める。

② 助け合う子を育てるために

- ア 児童の人権感覚を磨き自己有用感や規範意識を醸成するため，児童の言動等にきめ細かく対応する。
- イ 植物の栽培等を通して命の大切さを感じさせるとともに，自他の安全を考えた行動がとれるよう場面に応じて具体的に指導し，児童自らが危険を回避できる思考力・判断力を身に付けるようにする。
- ウ グループ活動や学級全体の話合い・係活動を活性化し自立への見通しをもたせることで，互いの意見や考えを認め励まし合おうとする態度を育成し，切磋琢磨する雰囲気を醸成する。
- エ 教職員が積極的に児童理解に努め，児童がいじめを自分たちの問題として捉えられるよう働きかけながら，個々の児童のよさや頑張りなどを認め励ます教育を推進する。
- オ 児童一人一人のよさが生きる教育活動を重視し，安心感のある集団づくりと協働的活動，体験的活動の機会を充実する。

③ 鍛え合う子を育てるために

- ア 自ら発言しようとしたり自ら人と関わろうとしたりする態度の育成を図るよう努める。
- イ 教科体育の充実等により体力の向上を図る。
- ウ 給食指導や保健指導を通して食の大切さについて意識を高めるとともに，日常的な運動量を確保するため，外遊びの奨励や体育的行事の充実を図る。
- エ きまりの意義を理解させ，全校体制で規範意識の徹底を図る。
- オ 自分たちの力で困難を克服する経験や考える機会などの多様な体験活動を取り入れる。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（１）学校運営【児童と教職員が生き生きと活躍できる温かさと活気に満ちた笑顔あふれる学校】

○児童一人一人のよさや可能性を伸ばし、主体的に困難に立ち向かうたくましい児童の育成

・保護者、地域、団体、企業との連携・協力体制を強化し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進

・教職員の資質・能力とチーム力の向上、校務内容の改善と遂行の効率化と勤務時間を意識した働き方の推進

（２）学習指導

・学業指導の充実と「宇都宮モデル」を踏まえた授業実践、及び創意工夫した家庭学習の習慣化

・主体的に学び考えを広め深める児童、協働的な態度の育成を目指した授業づくり

○１人１台端末、ＩＣＴを活用した授業展開の工夫や地域の教育資源や教育力を有効活用した学習活動の充実

（３）児童生徒指導

・基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成、思いやりの心の育成

○いじめ・不登校等の未然防止、早期発見及び適切な初期対応等による支援の充実

・一人一人の存在感を認め合える学級づくりの充実

（４）健康（体力・保健・食育・安全）

・自分の健康や体力についての理解と年間を通しての多様な体力向上推進計画の実践

○自他の命の大切さを考え、危険を予測し、正しく判断して行動する児童の育成

・望ましい食習慣の定着と健康を管理する能力の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式２～４参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

（１）育てたい資質・能力

・主体的に物や人と関わり、粘り強く取り組み自ら課題を解決しようとする意欲・態度

・自他の生命を尊重し、互いに認め合える人権感覚を身に付け、感性豊かで思いやりのある態度

・自ら運動に取り組み、体力向上を図ろうとする態度

（２）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①本校のイメージキャラクター「きらりん」を活用した取組

・児童一人一人が生き生きと活動できる場の設定「きらりん運動会」「きらりんウォークラリー」

・児童のがんばりや善い行いを称賛・表彰「きらりん賞」

日頃から多くの教職員の目で児童の善行を見取り、称賛する。（担任と情報共有）

帰りの会で友達の善い行いを紹介する。

・あいさつがよくできている児童を称賛・表彰「あいさつ認定証」

②各教科・領域等

◇体験活動の充実 福祉体験（アイマスク、車椅子などの各種体験）

校外学習（町探検、社会科校外学習等）

◇なかよし花壇での花栽培と教材園での野菜栽培

・安全教育の充実（各種避難訓練、健康教室、自転車免許事業）

- ・粘り強くやり抜く心の育成と体力向上（各種検定、持久走記録会）
- ・各種出前授業の実施
- ・週2回の読書タイムや図書委員会と連携した取組等による読書活動の充実

③児童会・縦割り班活動

- ◇あいさつ運動（児童会による「朝のあいさつ運動」）
- ◇高学年のリーダーシップ育成と異学年の教え合い・助け合い
（縦割り班活動、縦割り清掃、「きらりんウォークラリー」等）
- ◇ボランティアや交通指導員さんへの感謝の会「きらりん感謝の手紙」の実施
- ・児童会主催によるスポーツ大会の実施（長なわ大会）

④家庭・地域との連携協力

- ◇幼稚園児（生活科）や高齢者（昔遊び）、地域名人（総合）との交流
- ◇保護者や地域ボランティアの積極的活用（授業支援 キャリア教育 図書館環境整備 見守り等）
- ◇教職員やボランティアによる読み聞かせ活動
- ・地域人材、教育資源の活用
生き物の飼育、生き物調査（学校東側用水） 地域清掃（岡本城跡）
安全マップ作り（地域の方々との交流）
- ・親子ふれあい活動の実施

8 本市の重点施策・事業との関連

（1）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

自分の生き方と地域に生きる人々の幸せを結び付け、魅力ある地域の創造に主体的に参画できる人間を育てていくために、学校、地域、家庭、専門機関との連携を密にして、保護者や地域から信頼される学校を目指した開かれた学校づくりを目指していく。学校教育の充実を図るとともに、地域の教育力を活用しながら、家庭や地域の教育力向上にも積極的に取り組み、双方向による「チーム岡北」の活動を推進していく。

②主な取組

- ・地域協議会における学校経営ビジョンの共通理解と学校運営参画の推進
- ・保護者や教育活動支援部会等による各種ボランティア活動の推進
- ・安全対策委員会や安全ボランティアとの連携による「安心して生活できる学校づくり」の推進
- ・地域連携係を中心とした情報の発信と収集

（2）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

地域学校教育経営ビジョン「夢や希望をもち、その実現に向けて、よく考え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身に付ける児童生徒の育成」を具現化するため、小中学校の教職員が相互理解を深め一貫した児童・生徒指導を実現する。

②主な取組

- ・地域学校園合同あいさつ運動の実施（地域とも連携）
- ・中学校教諭による乗り入れ授業の実施と要請訪問等の相互授業公開

- ・家庭学習等の学校園共通の取組
- ・学習に関する共通課題の洗い出し、向上策の検討
- ・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、学習内容定着度調査の正答率向上を目指した基礎的な内容の徹底

(3) 不登校対策

①基本的考え

一人一人の児童理解を基に、児童との信頼関係を築き、日常的に関わりながら、不登校を生まない学級・学校経営に努め、各取組を組織的・計画的に推進していく。

「未然防止（健全育成）の取組」

「早期発見・早期対応（初期対応）」

「不登校および傾向児童・保護者への対応、支援」

②主な取組

- ・児童が自己存在感、有用感を実感できる場や、自己実現の場の設定
- ・児童が、互いに認め協力し合い、規律やルールを大切にできる学級や集団づくり
- ・教職員による日々の称賛、「きらりん賞」や「宮っ子心の表彰」を活用した認め励ます教育の推進
- ・日頃の見取り、教育相談、アンケートの実施により、早期発見・早期対応
- ・定期的な児童に関する情報交換やケース会議に基づいたチームでの組織的・計画的な対応
- ・欠席者への電話や家庭訪問の継続実施と節目時期における面談実施
- ・スクールカウンセラーを活用した相談体制の充実と多角的・多面的な支援児童理解

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

1人1台端末環境により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、主体的・対話的で深い学びによる資質・能力の育成を図っていく。さらに、統合型校務支援システムをはじめとしたICTの導入・運用していくことで、授業準備や成績処理等の効率化にも対応し、学校における働き方改革を推進する。

②主な取組

- ・授業のねらいや内容に応じた端末の活用
- ・複数の児童の意見を基に話し合い、考えを深める活動への活用
- ・「リアル」と「デジタル」がベストミックスされた学習活動の実現
- ・個別学習において、A I 型ドリル教材、映像教材の課題（宿題）、家庭学習等での活用
- ・「情報モラル教育年間指導計画」に基づいた指導の実施、デジタル・シティズンシップ教育の充実

(5) 宇都宮学

①基本的考え

グローバル社会に主体的に向き合い、より良い社会を創る担い手となるとともに、異なる文化を持つ人々とともにたくましい未来を生き抜く宮っ子を育むため、児童が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。体系的な学習を行うことを通して、宇都宮の特色や魅力に関する知識を身に付け、郷土のよさを理解し、さらに郷土の未来を考えたり魅力を表現したりできるように、資質・能力を育成する。

②主な取組

- ・社会科と関連付けた授業を行い、「宇都宮学」に関連した施設や場所として、地域の関連施設岡

本城跡などを見学し，体験的な学習を行う。（２・３・４・６年生）

- ・「宇都宮の自然と交通」として，鬼怒川などの自然環境や生き物の生態，農産物の生産の状況や交通の状況などを幅広く探求し，「宇都宮の伝統文化」として，百人一首や民話，地域に伝わる祭りや民俗芸能，郷土料理など体験を通して探究していく学習を行う。（５・６年生）
- ・他教科等との連携を図った活動の推進（総合的な学習の時間，学校行事，特別活動等）